



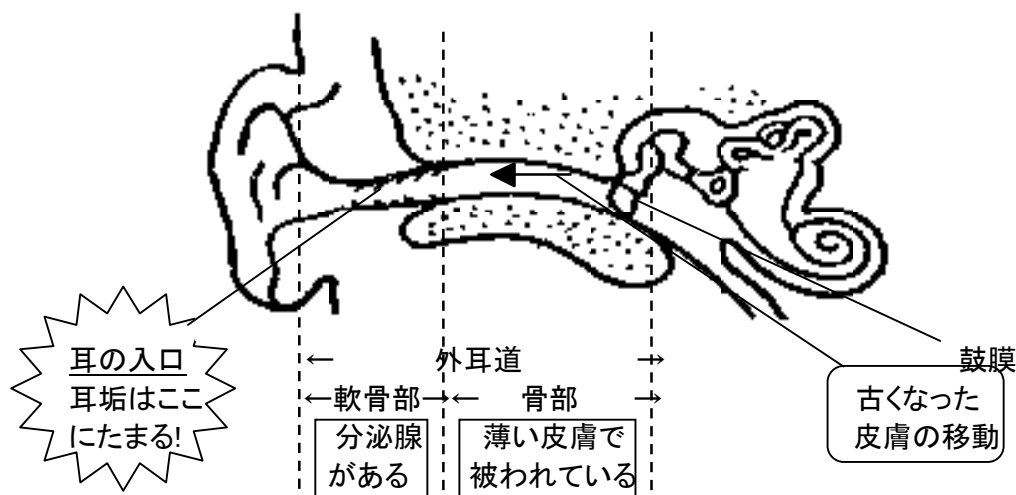
耳の掃除



<耳垢(みみあか)のでき方>

俗に言う「耳の穴」つまり「耳の入口と鼓膜の間」を「外耳道(がいじどう)」と呼びます。外耳道には「軟骨部」と「骨部」があります。耳の入口側が「軟骨部」、鼓膜側が「骨部」です。「軟骨部」には耳垢腺や皮膚腺があり、分泌物を作ります。「骨部」は骨の上に薄い皮膚がのっています。

「外耳道」では新しい皮膚が作られ、古くなった皮膚は鼓膜から耳の入口に向かって自然に移動します。移動した皮膚は「軟骨部」と「骨部」の境界ではがれ落ちます。はがれ落ちた皮膚と「軟骨部」で作られた分泌物が混じり合って「耳垢(みみあか)」になります。



<正しい耳の掃除>

耳垢は耳の入口付近にだけたまります。入口付近の耳垢を綿棒でそと取り除くだけで十分です。



<間違った耳の掃除>

1.耳の穴の奥の方の「骨部」は薄い皮膚で被われているだけです。大変傷つきやすいので、触らないようにしましょう。傷がつくと「外耳道炎」になって痛くなります。

→「外耳道炎」になった場合には当院を受診してください。点耳薬を処方します。

2.耳垢は鼓膜から耳の入口へ向かって自然に排出されます。通常は耳の穴をふさぐほどたまることはありません。耳の入口付近にある耳垢を無理に取ろうとして、綿棒で耳の穴の奥の方に押し込んでいませんか？押し込んでしまうと耳垢が奥の方で固まってしまっ、栓になってしまい、耳の穴をふさいでしまうことがあります。これを「耳垢塞栓(じこうそくせん)」と呼びます。

→「耳垢塞栓」になった場合には当院を受診してください。耳垢鉗子で取り除きます。



<耳垢豆知識>

耳垢には、「乾型(かさかさタイプ)」と「湿型(褐色アメ状タイプ)」があります。日本人では「乾型」が85%ですが、欧米人では「湿型」が多数です。